

[普及事項]

新技術名：ドイツボルドーAの低濃度散布による稲こうじ病の防除効果（平成25～26年）

研究機関名 農業試験場 生産環境部 病害虫担当  
担当者 藤井直哉・佐山 玲 他1名

[要約] ドイツボルドーAの低濃度散布（4,000倍）は同剤の通常濃度散布（2,000倍）と同等に稲こうじ病に対して高い防除効果を示す。

[普及対象範囲]

県内全域

[ねらい]

現在、稲こうじ病に対しては粉剤や粒剤による防除が行われているが、カーペットスプレーヤ等の防除機を使用している生産者からは液剤の要望が多い。一方で、防除薬剤の中でも銅剤及び銅剤が含まれる混合剤は特に高い防除効果を示すことから、銅水和剤（商品名：ドイツボルドーA）の散布濃度を半減しても防除効果が期待できると考え、検討を行う。

[技術の内容・特徴]

1. 水稻の出穂期13～12日前にドイツボルドーAの4,000倍液を散布すると、稲こうじ病の中発生条件下（表1）あるいは多発生条件下（表2）において、無処理区に比べて稲こうじ病の発生が少なく、同剤の通常濃度散布（2,000倍）と同等の防除効果を示す。
2. ドイツボルドーAの4,000倍液散布は対照のラブサイドベフラン粉剤DLの3kg/10a散布と比較すると、同等（表2）あるいは同等以上（表1）の防除効果がある。

[成果の活用上の留意点]

1. 試験に供試したのはドイツボルドーA（成分：無機銅84.1%）であるが、ボルドーも同等の効果を示す。
2. ドイツボルドーAの農薬登録上の散布濃度（希釈倍数）は2,000倍、散布量は60～150L/10aである。
3. ドイツボルドーAの農薬登録上の使用時期は出穂10日前までであり、散布適期は出穂20～10日前である。
4. 試験した両年はドイツボルドーAの2,000倍散布および4,000倍液散布による薬害（葉焼け）は確認されなかったが、2,000倍散布は薬害が生じやすいため注意する。
5. ドイツボルドーAは秋田県特別栽培農産物認証基準において節減対象農薬に該当しない（使用回数がカウントされない）。

[具体的なデータ等]

表1 ドイツボルドーAの低濃度散布による稲こうじ病の防除効果(2013年)

供試薬剤	処理量/方法/時期	区	調査株数	発病株率(%)	株あたり発病 籾数	防除価 <sup>1)</sup>	薬害
ドイツボルドーA	4,000倍 120L/10a 散布 出穂期13日前 7/22	I	150	1.3	0.01	<b>95.0</b>	—
		II	150	0	0		
		III	150	10.0	0.11		
		<b>平均</b>	<b>150</b>	<b>3.8</b>	<b>0.04</b>		
ドイツボルドーA	2,000倍 120L/10a 散布 出穂期13日前 7/22	I	150	2.7	0.04	<b>94.7</b>	—
		II	150	5.3	0.07		
		III	150	2.7	0.02		
		<b>平均</b>	<b>150</b>	<b>3.6</b>	<b>0.04</b>		
対照)ラブサイドベフラン粉剤DL	3kg/10a 散布 出穂期13日前 7/22	I	150	9.3	0.17	<b>86.5</b>	—
		II	150	6.0	0.11		
		III	150	2.7	0.07		
		<b>平均</b>	<b>150</b>	<b>6.0</b>	<b>0.11</b>		
無処理		I	150	20.0	0.67		
		II	150	36.0	1.33		
		III	150	16.7	0.53		
		<b>平均</b>	<b>150</b>	<b>24.2</b>	<b>0.84</b>		

1) 株あたり発病籾数から算出 調査時期:9月10日

試験場所:秋田市河辺、品種:あきたこまち、出穂期:8月4日

表2 ドイツボルドーAの低濃度散布による稲こうじ病の防除効果(2014年)

供試薬剤	処理量/方法/時期	区	調査株数	発病株率(%)	株あたり発病 籾数	防除価 <sup>1)</sup>	薬害
ドイツボルドーA	4,000倍 120L/10a 散布 出穂期12日前 7/22	I	100	5.0	0.09	<b>89.9</b>	—
		II	100	2.0	0.02		
		III	100	19.0	0.45		
		<b>平均</b>	<b>100</b>	<b>8.7</b>	<b>0.19</b>		
ドイツボルドーA	2,000倍 120L/10a 散布 出穂期12日前 7/22	I	100	1.0	0.01	<b>97.2</b>	—
		II	100	6.0	0.07		
		III	100	4.0	0.07		
		<b>平均</b>	<b>100</b>	<b>3.7</b>	<b>0.05</b>		
対)ラブサイドベフラン粉剤DL	3kg/10a 散布 出穂期12日前 7/22	I	100	28.0	0.66	<b>83.9</b>	—
		II	100	6.0	0.09		
		III	100	8.0	0.14		
		<b>平均</b>	<b>100</b>	<b>14.0</b>	<b>0.30</b>		
無処理		I	100	60.0	2.37		
		II	100	52.0	1.78		
		III	100	43.0	1.39		
		<b>平均</b>	<b>100</b>	<b>51.7</b>	<b>1.85</b>		

1) 株あたり発病籾数から算出 調査時期:9月3日

試験場所:秋田市河辺、品種:あきたこまち、出穂期:8月3日

[発表論文等]

・銅水和剤(ドイツボルドーA及びボルドー)の4,000倍液散布は平成27年度版農作物病害虫・雑草防除基準に記載。